

たいけい

議会だより

No.64

令和2年5月1日

(2020年)

【題字】森田 もりた 凌雅 りょうが さん

土作在住の齋藤さんファミリー

前列 凜々花 (りりか) さん 小4

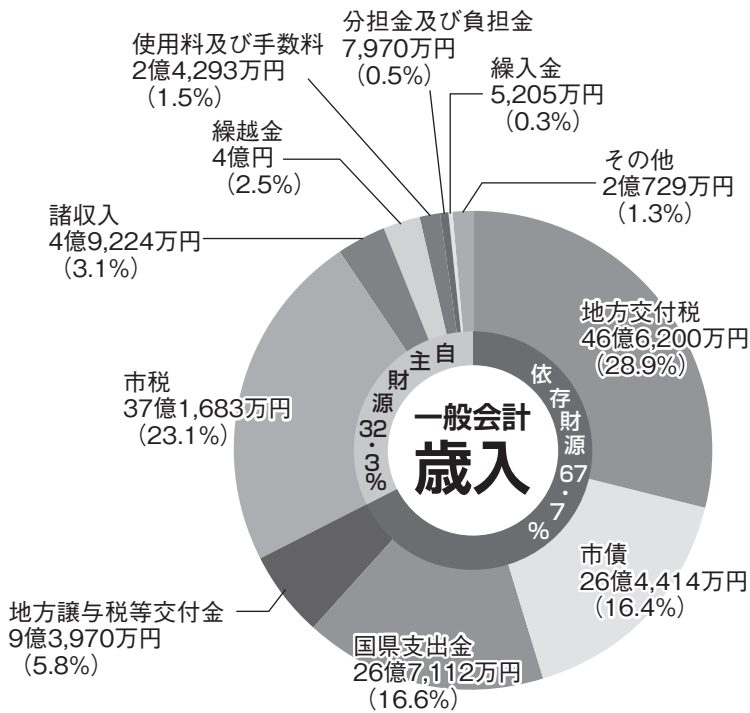
後列左 花音 (かのん) さん 中3

後列右 星乃花 (ほのか) さん 中1

令和2年度予算審査特別委員会	2～5ページ
会派代表者質問 (4人)	6～9ページ
一般質問 (4人)	10～13ページ
令和2年 第1回定例会議決結果	14～15ページ
常任委員会審査・議場コンサート開催報告	16～17ページ

一般会計 161億800万円

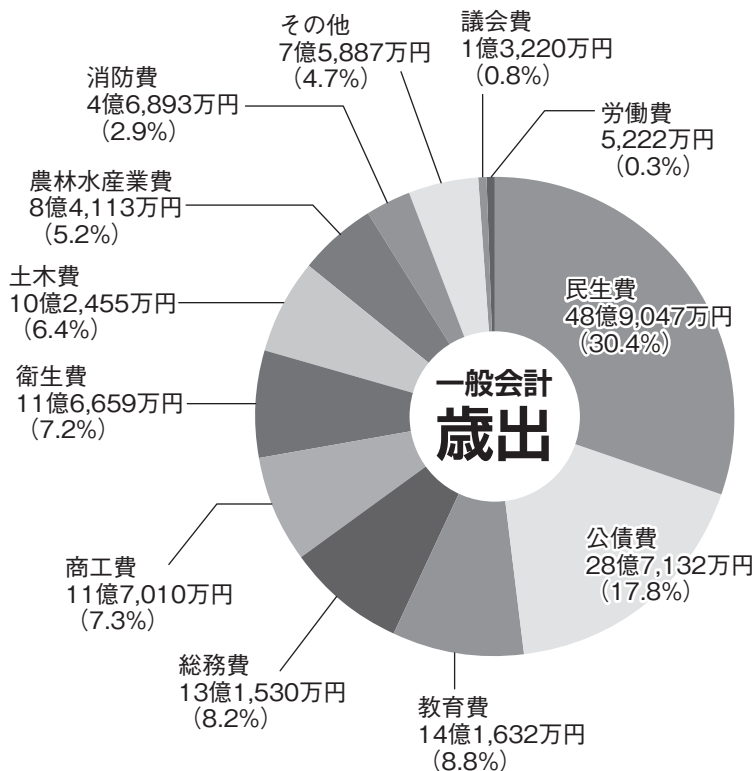
特別会計 74億8,740万円 公営企業会計 44億970万円



令和2年第1回定例会は、2月20日から3月18日まで開催されました。

当初予算12件のほか、補正予算11件、条例の一部改正15件、条例の廃止1件など計47議案と議員発議3議案が審議され、原案のとおり可決されました。

また、会派代表質問に4人、一般質問に4人の議員が市政について質問を行いました。



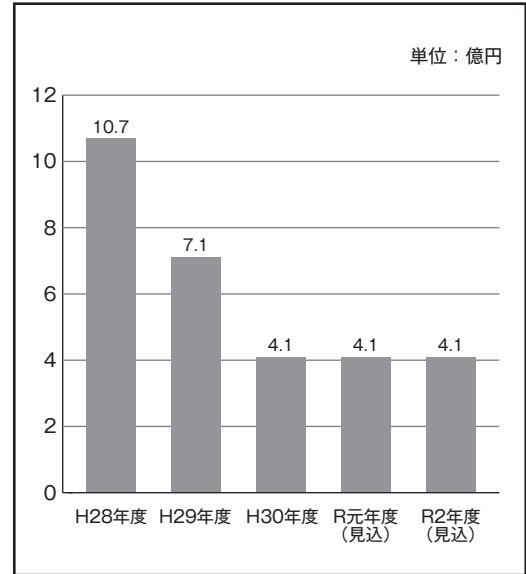
市長施政方針の柱

- ・「教育、子育て、少子化対策等」
- ・「高齢社会に対応した健康寿命の延伸と支え合いのコミュニティづくり」
- ・「地域の活力を生む産業振興と観光振興」
- ・「安全で安心なまちの基盤整備」

令和2年度 当初予算を可決

○令和2年度 各会計予算

会計区分		予算額	前年度比
一般会計		161億800万円	5.6%
特別会計	国民健康保険事業	31億470万円	△0.1%
	後期高齢者医療	3億3,370万円	10.7%
	介護保険事業	35億5,050万円	2.1%
	黒川診療所運営事業	5,770万円	△13.6%
	地域産業振興事業	2億9,780万円	△21.1%
	鹿ノ俣発電所運営事業	1億4,300万円	0.0%
企業会計	公共下水道事業	18億3,766万円	△4.2%
	農業集落排水事業 ※1	11億5,408万円	—
	水道事業	10億8,182万円	△4.0%
	簡易水道事業 ※2	3億2,092万円	—
	工業用水道事業	1,522万円	10.0%



企業会計は、収益的支出及び資本的支出の合計額を記載。
※1及び※2は、令和2年度に特別会計から企業会計へ移行。

市の貯金にあたる財政調整基金の推移

「事業見直し」により、2,520万円を削減

胎内市が将来にわたって持続可能な行財政運営を行うために、必要性、妥当性、有効性、効率性、類似性等の視点から各種事業の見直しが行われました。その結果、22事業（一般会計20事業、特別会計2事業）を見直し、2,520万円が削減されました。

◇見直し事業一覧（主なもの）

(千円)

事業名	見直し内容	一般財源削減額
防災事業	自主防災組織連絡協議会の視察研修を見直し、講師を招いての研修会を実施することにより経費の削減を図る。また、目標としていた防災士の人員を確保できたことから、防災士養成事業を一時的に休止する。	1,681
高齢者配食サービス事業	真に必要とする方への支援を行うため、配食回数を決定する基準表を見直すことで、配食回数の適正化を図る。	1,383
観光振興事業	温泉まつり及びスキーカーニバルの開催方法などの見直しと星まつりの出展料の見直しなどにより経費の削減を図る。また、米粉フェスタのイベントのあり方や方向性を見直しを行い、米粉普及活動が更に進展するようなイベントとするため、その検討期間として令和2年度の米粉フェスタを休止する。	4,607
住宅建築リフォーム補助事業	これまでの事業効果等を検証した結果に基づき、住宅建築リフォーム補助金の事業規模を縮小する。	2,000
中学校共通管理事業	中学校の介助員について、配置基準の見直しを行う。	1,890
山村広場管理事業	胎内キャンプ場及び旧グリーングラウンドのトイレの管理について、利用者が少ないことや老朽化により多額の修繕費が必要なことから、使用を一時休止し、今後の活用方法を検討する。	1,266
ワイン製造施設運営事業	商品の価格設定の見直しを行い、収支の改善を図る。	5,798

令和2年度予算審査特別委員会

令和2年度胎内市一般会計予算をはじめとする12会計の予算について、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、3日間にわたり審議を行いました。主な質疑を紹介します。

一般会計（3月12日）

総務費

質問 旧市設住宅解体工事の解体予定場所は。

答弁 平木田住宅1号・2号の住宅である。

質問 解体後の土地はどうするのか。

答弁 売却予定である。

質問 旧東学校給食センター解体工事について、解体後の跡地の利用計画は。

答弁 隣接する中条小学校の整備計画とあわせて今後検討する。

質問 のれんす号の運行便数を増やす考えは。

答弁 のれんす号の機能と役割は、今後ますます高くなってくる。便数を増やすことやフリー走行など実験的な試みをやりながら更に利便性を高め、市民の生活の足を確保していく。

民生費

質問 在宅介護手当の概要は。また対象人数は。

答弁 要介護3以上、また身体・精神に重度の障がいのある方を在宅で介護している家族に月額5千円を支給するもの。令和2年度は、実人数46人、令和2年度は、53人を見込んでいる。

質問 各保育園施設整備工事の事業内容は。

答弁 中条すこやかこども園、ふたば保育園、ついじ保育園の吊り天井の改修工事を予定している。

質問 敬老事業における事業見直しの削減効果は。

答弁 令和2年度は、敬老会をロイヤル胎内パークホテルで平日に開催する計画である。ホテル所有のバスを使用することで自動車借上料のほか経費削減を見込んでいる。

衛生費

質問 緑のカーテン普及事業の実績と令和2年度の予定は。

答弁 今年度は825世帯に配付した。令和2年度は、さらに多くの世帯に設置をしていただきたいと期待を込め1千500世帯を見込んでいる。

質問 ほっとHOT・中条施設整備工事の概要は。

答弁 屋上に太陽光パネル約200枚を設置する。また、蓄電池を設置し、空調機も災害対応に改修する。平時には、太陽光の電気を使うことで、年間約70万円の削減を予定している。



ほっとHOT・中条

質問 環境パトロール・不法投棄物回収等業務委託の概要は。

答弁 市内のパトロール巡回と不法投棄物を発見した場合は可能な範囲で回収してもらっている。

質問 年間、どのくらい不法投棄があるのか。

答弁 今年2月時点で、63件、約30トン回収した。テレビや冷蔵庫、洗濯機等の家庭ごみが多い。

農林水産業費

質問 農業経営法人化支援総合事業補助金が前年より増えている理由は。

答弁 この補助金は、法人を立ち上げる際の支援金であり、本年は1件、令和2年度は、5件を見込んでいる。

商工費

質問 樽ヶ橋遊園に新たな動物を導入する計画は。

答弁 九官鳥やふれあえる動物として、シマリスを検討している。

質問 樽ヶ橋遊園の施設改修で動物の配置も変わるのか。

答弁 クマ、サル、ダチョウを川側へ移動させ、道路側にアルパカ、ヤギなどのふれあい動物を配置する計画である。

土木費

質問 道路事業用地購入費の内容は。

答弁 胎内スマートICの用地取得面積として、1万平米の購入を予定している。



令和5年3月完成予定の胎内スマートIC 整備予定地

教育費

質問 昨年、きのと交流館のガラスが割られる等の事案があったが、警報設備等の設置の考えは。

答弁 今後、設置について十分検討する。

歳入全般

質問 ライフル射撃場について、使用料金と年間利用者数は。

答弁 使用料は1回600円、平成30年度では、1千843人の利用があった。

質問 ふるさと納税寄附金1億5千万円の算出根拠は。

答弁 平均寄附額である3万円を5千人から寄附いただけると想定した。

特別会計（3月13日）

国民健康保険事業

質問 保険給付費は昨年より約150万円増額となっている。直近の1人当たりの医療費と傾向は。

答弁 1人当たりの保険給付費は、34万3千983円である。医療

費は増加傾向にあり、次年度はさらに3.3%増加すると見込んでいる。

地域産業振興事業

質問 米粉製造処理業務委託料は、前年より大幅に減額しているがその理由は。

答弁 米粉製造に関して、これまでの市からの委託の手法を令和2年度からは新潟製粉株の自主事業に転換していくため、委託料は減額となる。



新潟製粉株式会社

政 和 会



森田 幸衛 議員

新型コロナウイルス等から 市民を守る対策について

議員 胎内市の防災備蓄マスクは1万枚とのことだが、全国では桁違いに備蓄している自治体も多く存在している。市民にマスクと手洗いの励行を呼び掛け、どこにも売っていない状態では話にならないので、新型コロナウイルス等の感染症から市民を守るために、市内の医療機関や福祉施設、学校関係者とも連携して、いざと言う時のために全市民に安定的に供給できる大量のマスクや消毒液の備蓄が必要だと考えるが。

市長 マスク等の備蓄については、そもそも感染症のために用意してきたものではなく、災害

があった場合、避難所において様々な疾病等がある方の防疫上のためにストックしている。全国的に自治体間で多くのばらつきがあるので、国とメーカーで話し合いがなされ、必要量が確保されるよう確認しながら要望等も尽くしていきたい。



老朽化した中条小学校 校舎の建て替え計画 について

議員 老朽化が著しい中条小学校校舎の建て替え計画については胎内市教育委員会の大きな課題となっているが、ずっと先送りされてきた。現在の中条小学校の児童数は443名だが、将来的な児童数を予測して、しかるべき校舎の規模や建設コストの計算は具体的に行っているのか、建て替え計画はあるのか。

教育長 中条小学校の老朽化対策は、築59年の南校舎については建て替え、築42年の北校舎については長寿命化改良を基本的な整備の方向性としていたが、昨年から今年にかけて実施していた北校舎の耐力度調査の結果、長寿命化改良に必要な耐力度を有していないことが判明したので、市長と協議して北校舎も南校舎と同様に建て替えを想定して整備計画を作成している。

議員 その整備計画が示されるのはいつ頃なのか。
市長 計画が細部まで全部固まるかどうかは分からないが、性質上あまり悠長に考えているような事柄ではないので、令和2年度中に何らかの形は示したい。



老朽化した中条小学校校舎

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

緑 風 会



渡辺 宏行 議員

公立認定こども園及び保育園の 施設配置等の基本的な考えについて

議員 育児休業後の年度途中の預け入れや低年齢児保育など、子育てと仕事を両立する保育ニーズが増加している。また一部の保育施設では老朽化が進み、安心して子どもが保育できる環境の確保が大きな課題となっている。市全体の公立認定こども園及び保育園の施設配置等について、基本的な考えは。

市長 3歳未満児の保育希望が多いことや公立の幼児教育、保育に対する国からの財政支援が限られていることなど、今置かれている状況を踏まえ、公が担うべき部分、民間が担うべき部分を、理想的な形に整えたい。

で公立と私立で協議を深め、保護者が、安心して子どもを預けられる施設配置となることが求められている。



公立保育園

議員 保育施設等適正配置問題 審議会の答申内容と今後の進め方は。

市長 答申内容は、①3歳未満児の入園増加による、保育士不足の解消。②児童数の減少に伴い統合や民営化も視野に入れた、多様な保育ニーズへの対応。③施設の老朽化により、修繕等にかかる経費の増大を踏まえ、施設の再編を進めていくこと。

今後の進め方については、答申内容を踏まえ具体的内容とスケジュールを明確にしていく。

小中学校の規模等の 適正化について

議員 市全体での学区の見直しや規模の在り方などを踏まえた、小中学校の規模と配置の適正化基本方針を早期に策定すべきと思うが考えは。

教育長 昨年の9月から本年1月までの間、市内5つの小学校を会場に保育園、こども園、小中学校の保護者等を対象に、これからの小中学校の在り方に係

る説明会を実施した。今後は、説明会で聴取した意見や考えを配慮しながら、学校施設の長寿命化計画や中学校の部活動の在り方検討会での検討結果等が整った段階で、付属機関を立ち上げ審議をし、答申を得て方向づけへと進めていく。



市内小学校

【その他の質問】
・胎内市国土強靱化地域計画について
・当初予算編成方針と財政健全化計画について

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

日本共産党



丸山 孝博 議員

開かれた行政について

議員 昨年の第2回定例会の一般質問で、全ての審議会等の会議の開催に当たって、市民への事前周知と会議の原則公開。会議録の作成と速やかな公開を求めたいと質問した。市長は「市民と行政の間で情報を共有することは、信頼される行政の確立と相互理解、市民協働の上で重要なものと考えている」と答弁されていたがその後、告知状況や公開された審議会等ほどの程度か。また、議事録の作成と公開はどうか。

市長 現状いまだに市民にとって重要な内容の会議であるにも関わらず、ホームページ等にお

いて公開されていないものもあり、市民協働のための情報提供、市と市民の情報共有の必要性に鑑みても、全庁的にその認識を再度徹底を図り進捗管理も行っていく。



市役所

気象変動への対応について

議員 昨年の台風19号を始め、局地的な風水害に高温、暖冬による少雪など気象危機と言われている。これまでの災害に対する常識をはるかに超える備えが必要だがどうか。

市長 市では各種災害ごとのリスクを特定した備えとして、地域防災計画を定めており、震災対策編と風水害対策編がある。また、防災ガイドブックを作成し全世帯に配布、土砂災害警戒区域や女性、子ども、障がい者の視点に立った修正も行った。避難所開設における職員の行動計画など災害対応における強化を図ってきた。

議員 雪不足による胎内スキー場運営の今後についてはどうか。温暖化によって、市民の血税をこれ以上投入することは、市民の理解が得られないのではないか。

市長 様々な視点から運営方法を検討し、少雪でも誘客を図られるような仕組みを考えたい。

子育て支援について

議員 昨年の幼保無償化で浮いた財源を給食無償化に回す自治体があるが、胎内市でも実施すべきでは。

市長 不用となる財源が発生する見込みであるか十分精査する必要があると考えている。



学校給食

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

公明党



渡辺 栄六 議員

少子化対策に関する
取り組みについて

議員 児童生徒の減少に対応するため、学校統合や小中一貫教育などの対応策、選択肢について学校規模等適正化の方向づけを早急に示すべきと考えるが。

教育長 保護者や地域の方々のご意見を十分考慮しながら、学校規模の適正化等を含めた小中学校の望ましい在り方について検討委員会で審議していただき、答申を得て方向付けをしていきたい。

SDGs「持続可能な開発
目標」の推進について

議員 本市としてSDGsの普及と、着実な推進の取り組みは。



SDGs17項目の目標アイコン

市長 SDGsの理念を分かりやすく伝え、普及促進につなげていくために各施策分野と関わりある目標のアイコン等を盛り込むなどの工夫をしており、その成果については第2期総合戦

略の施策評価などの機会に確認をし、好循環につながるよう推進していく。

新型肺炎防止対策
について

議員 専用窓口の周知徹底と迅速な医療機関の対応体制への連携は。

市長 市民の相談窓口は新発田保健所に設置されており、市報等で市民の皆様にも周知している。また、国や県の動向を注視し、状況の変化に応じた迅速な対応ができるよう、医療機関との連携体制を整えていく。

防犯対策について

議員 集落での防犯カメラの設置時や、補修費用などに対して補助事業はできないか。

市長 今後防犯カメラの補助制度を設けることについて、他市町村の制度なども参考にしながら検討していく。なお、補助制度を設ける場合にはガイドライ

ンを市で作成し、その基準を満たすものについて補助していく考えである。

道路融雪設備について

議員 黒川小学校前や、黒川駐在所前の市道は融雪設備がされているにも関わらず、シーズン当所から可動停止しているが、その要因と改修計画は。

市長 水量が不足し、機能が維持できなくなったため、地元の区長と相談した結果、廃止することとなった。



黒川駐在所前の市道

第3次胎内市 男女共同参画プラン21(案)について



羽田野 孝子 議員

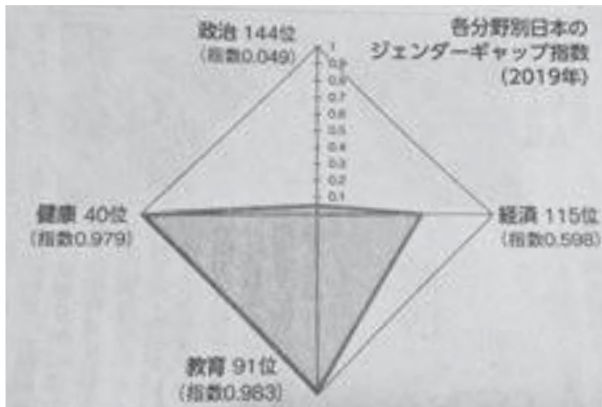
議員 世界の男女格差の度合いを示すジェンダー・ギャップ指数は、昨年の日本が0・652で153か国中121位、過去最低である。遅れている政治や経済の女性参画について伺う。

市長 今後も男女の意見がバランスよく反映されるよう、職場や各種団体に、女性が参画しやすい条件や環境を整備するための取り組みを行っていく。

議員 市の管理職割合の目標を示せないか。

市長 女性活躍推進法における特定事業主行動計画では、令和元年度までに課長級職の女性割合の目標を10%以上にしている

が本年度は5.6%である。



日本のジェンダー・ギャップ指数 (しんぶん赤旗 2020.2.2)

会計年度任用職員 制度について

議員 今年4月からスタートする会計年度任用職員数の見通しと待遇改善は進むのか伺う。

市長 一般事務員、保育士、学級補助員、放課後児童支援員、一般作業員など全体で344人見込んでいる。このうち24人は保育士をフルタイムで任用する予定である。フルタイムは月給で、パートタイムは時間給で支給する。昇給については、フルタイムのみで1年度ごとに3号級昇給し、6年度目で上限とする。期末手当については、6か月以上の任期があり、週30時間以上勤務する会計年度任用職員に支給する。

議員 正規職員に任用替えをしていくべきと考えるが、過去5年間の実績について伺う。

市長 平成27年度から令和元年度までの5年間で平成27年度に1人、平成28年度に2人採用している。

地域生活支援拠点等の 整備について

議員 令和2年度末までに設置するとの計画であったが進捗状況等について伺う。

市長 一般社団法人みらいずから施設整備の提案があり、多機能拠点型と位置づけ、旧こぼと作業所に令和3年5月に事業開始予定。基幹相談支援センターを中心として、地域活動支援センター、障がい者グループホーム、高齢者グループホーム等一体的に整備する計画である。



旧こぼと作業所

防災対策について



坂上 隆夫 議員

議員 歙江沢川は土砂が溜まり河川に立ち木がある所や、増水で、民家の法面がけずれたりしている。また、災害復旧事業で建設された3つの頭首工があるが老朽化に伴いゲートの開閉が手動で行われている。想定以上の降水により急に増水した場合、開閉が出来ず川から水が溢れ甚大な被害が出るおそれがあるが、何か考えがあるのか伺う。

市長 歙江沢川の整備に関しては、毎年県に要望を行ってきたが、先月末に、歙江地内を中心とした区間で、河床掘削及び伐木処理に着手できる旨の報告が

あり、今後作業について地元と協議を進める予定となつてい。3つの頭首工の改修につい



歙江沢川

学校適正規模

について

ては、市としても県や土地改良区、受益者などの関係者と十分協議をし、治水と利水の両面からしっかり検討を行い、その方向性をできるだけ早期に定めていきたいと考えている。

議員 小中学校の在り方について保護者との検討会などはあつたのか伺う。

教育長 これからの小中学校の在り方に係る説明会を行った。参加した皆様方から説明を聞いての個々の考えをアンケートし、貴重な意見や提言を頂くことができたので、今後の検討の参考にした。

議員 中学校の統合によって解決できる部分もあるが、保護者に対して、学校統合、小中一貫教育、諸問題などのアンケート調査を行う考えはあるか伺う。

教育長 今後小中学校の望ましい在り方について方向づけを行うため、附属機関を設置して審議を行う予定としているが、ア

ンケートというよりも、小中学校の現状や、これまでの調査検討結果などを基に、審議過程の中で議論を重ねて熟議を尽くしていくことのほうが重要であるとと考えている。



市内中学校

【その他の質問】
・学校給食について

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



坂上 清一 議員

農業振興について

議員 2018年産米から国の生産調整（減反）が廃止されたが、その後の当市の現状及び今後の見通しは。

市長 需要のある米粉用米や新市場開拓米等の生産拡大、高収益作物の導入など、米価の下落リスクに備えた取組も進め、水田のフル活用による所得確保に取り組んでいきたいと考える。

観光振興について

議員 樽ヶ橋遊園の大規模改修が予定されているが、具体的な改修内容は。

市長 バリアフリー化を図った多機能トイレや授乳室、休憩・遊戯空間を備えた受付棟の新設を始め、園内全体を回遊しながら動物鑑賞ができるような動物舎の配置や触れ合い動物を集約したエリアの整備を計画している。

ふるさと納税について

議員 今年度のふるさと納税寄附額が大幅に増額された要因をどのように分析し、今後の市政に反映させていくのか。

市長 胎内市を応援してください



ふるさと納税 返礼品

る、また、ふるさとに想い寄せてくださいる方々の心を大切にしながら、歳入確保につながればと願っている。また、寄附額4億1千458万7千円のうち、「子育て環境の充実支援」に42%、「市長に一任」が30%、「地域活性化支援」に14%、「子どもたちの心身育成支援」に10%、「健康づくり支援」に4%の割合で活用して欲しいとの意向をいただいている。

道路等の環境整備について

議員 平木田駅前、高校生の乗降時間帯には、送迎の車で大混雑している。隣接する市所有の空き地を有効活用することはできないか。

市長 例えば、当該土地を送迎等の一時的なスペースとしての利用や道路拡幅の用地活用なども含め、混雑緩和につながる方策を検討する。

議員 県道53号線樽ヶ橋から胎内リゾートに向かう道路脇の雑草・雑木などの処理について、市の対応は。

市長 危険が生じる恐れがある場合は、直ちに県に報告して対応を求め、景観の維持に配慮し、市で行うべき対応がある場合はそれに努める。



県道53号線の雑木



渡辺 俊 議員

立地適正化計画について

議員 この計画の目標値の指標の推移、数値は。

市長 住宅の割合は、中条駅西口周辺で宅地開発がされていることから基準年の数値を上回ると推察される。

デマンドタクシーの利用者数は、平成27年をピークに減少する傾向となっている。

居住誘導区域内の人口密度は、中条駅地区と平木田駅地区を合算して、基準年における1ヘクタール当たり29人から4人少ない25人となっている。

議員 この計画でこれまで適用された支援策と今後の予定は。



市長 これまで支援策が適用された事業はないが、本計画の策定により都市機能誘導地域内に

において、利便性の向上や賑わい創出など副次的な効果が現れてきていると認識している。

市としては、目指すまちづくりを実現するための支援制度として、居住者の共同福祉や利便のための施設整備に対し、補助金を受けられるように、今後必要に応じて検討していく。

議員 平木田駅がかなり老朽化しているが。

市長 平木田駅に関しては、あまり考慮されてこなかった部分があるが、JRと擦り合わせを行い、トイレも交通渋滞の緩和スペースも総合的に考えていく。

議員 駅前の空き家等整備は。

市長 空き家等に対して売買ができるものは売買に仕向けていく。除却をしなければ安全面や景観の上で著しい支障を来すといった部分については、更地にして少しでも景観、住環境をいっほうに持っていく。

駅周辺は新しい家が集中的に立っているの参考にし、隣接する部分で何らかの手当てが公としてできるか否か考えていく。

安全・安心について

議員 防犯カメラの設置状況と今後の対応は。

市長 公共施設における設置数は58台、自治会、集落で設置したものは3台であり、今後自治会、集落間等の防犯に有効な場所については、市や関係機関で防犯カメラの設置を検討するほか、自治会、集落での防犯カメラ設置については、ガイドラインを作成し、補助制度を設けるなど検討する。



防犯カメラ

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

令和2年 第1回定例会議決結果

全会一致で可決された議案

令和2年度当初予算 <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険事業特別会計予算 ・介護保険事業特別会計予算 ・黒川診療所運営事業特別会計予算 ・地域産業振興事業特別会計予算 ・鹿ノ俣発電所運営事業特別会計予算 ・公共下水道事業会計予算 ・農業集落排水事業会計予算 ・水道事業会計予算 ・簡易水道事業会計予算 ・工業用水道事業会計予算 	条例の一部改正 <ul style="list-style-type: none"> ・行政組織条例の一部を改正する条例 ・監査委員条例の一部を改正する条例 ・固定資産評価審査委員会条例及び手数料条例の一部を改正する条例 ・総合計画等審議会条例の一部を改正する条例 ・特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・税条例の一部を改正する条例 ・社会体育施設条例の一部を改正する条例 ・印鑑条例の一部を改正する条例 ・露店市場管理条例の一部を改正する条例 ・道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例 ・市営住宅条例の一部を改正する条例 ・学校給食運営委員会条例の一部を改正する条例 ・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 ・会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
令和元年度補正予算 <ul style="list-style-type: none"> ・一般会計補正予算（第8号）【専決】 ・一般会計補正予算（第9号） ・一般会計補正予算（第10号） ・国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） ・後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） ・介護保険事業特別会計補正予算（第4号） ・簡易水道事業特別会計補正予算（第4号） ・地域産業振興事業特別会計補正予算（第3号） ・鹿ノ俣発電所運営事業特別会計補正予算（第2号） ・公共下水道事業会計補正予算（第5号） ・水道事業会計補正予算（第5号） 	その他 <ul style="list-style-type: none"> ・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更（2件） 【黒川東部、築地西部】 ・財産の減額貸付 ・定住自立圏形成協定の変更 ・市道路線の認定【胎内市中条字谷地田】 ・公の施設に係る指定管理者の指定（3件） 【つつじが丘交流センター：つつじが丘区】 【福祉交流センター有楽荘：株式会社誠】 【中条駅前広場：有限会社中条開発】
条例の廃止 <ul style="list-style-type: none"> ・し尿処理施設運営事業基金条例を廃止する条例 	

議員提出議案

- ・加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書 【提出者：丸山孝博議員】
内容：加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書を政府へ提出するもの。
- ・最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書 【提出者：桐生清太郎議員】
内容：最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書を政府へ提出するもの。
- ・県立坂町病院の活性化を求める意見書 【提出者：羽田野孝子議員】
内容：住民が安心して暮らせる医療環境の実現のため、県立坂町病院の活性化を求める意見書を新潟県へ提出するもの。

賛否が分かれた議案

議案名	議員名														議決結果	賛成※	反対※
	小野徳重	坂上隆夫	羽田野孝子	森本将司	八幡元弘	渡辺秀敏	坂上清一	渡辺栄六	天木義人	森田幸衛	渡辺俊	桐生清太郎	渡辺宏行	丸山孝博			
市長提案 令和2年度一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決	12	2
令和2年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決	12	2

※ ○：賛成、×：反対

※ 地方自治法第116条の規定により、薄田智議長は表決には参加しません。

※ 全会一致で可決された議案については、議決結果表を省略。

議第
1号

令和2年度 胎内市一般会計予算

討論

反対討論

丸山 孝博 議員

前年度に引き続き事業見直しで、防災士養成事業の休止や外出支援サービス事業など1千925万円の削減。

今年度の事業見直しでは、1億8千600万円も削減したが、予備費は3億3千500万円も膨れ上がり、事業見直しの2倍近い予算を残している。子育て、介護などの事業は十分存続できた。国の幼保無償化に伴い予算の

余裕が発生することで、更なる子育て支援を実施している自治体がある中で、その見通しがないう算である。胎内リゾートは収支の改善が見込まれるのか疑問がある。

会計年度任用職員制度がスタートするが、計画的な正規職員化の方向が示されていない。新型コロナウイルス対策の強化で市民生活を守ることに。

賛成討論

八幡 元弘 議員

市の財政状況は、経常収支比率や将来負担比率が高い状態にあり、社会保障関連経費や各施設の老朽化に伴い維持管理経費も増加傾向で厳しい状況にある。

この状況下で、事業見直しを昨年に行き、将来の負担抑制に留意し、成長へとつながる施策も盛り込まれ評価できる内容である。「農業創意工夫応援事業

補助金交付事業」、「胎内スマーティンターチェンジ整備事業」や「洋上風力発電誘致事業」等、未来につながる事業へ予算配分もされ、財政調整基金の取り崩しもなく編成されている。現実にも即して必要な事業を見定め、限りある財源の中で予算配分した結果であり、賛成するものである。

議第
3号

令和2年度 後期高齢者医療特別会計予算

討論

反対討論

丸山 孝博 議員

この制度は、国民を年齢で区切り、高齢者を別枠の医療保険に囲い込んで、負担と差別を押し付けるものであり、日本共産党は始めから反対し、撤廃して元の老人医療制度に戻すべきだと主張してきた。保険料は際限なく値上げになることが想定され、制度導入時、批判をかわすため、軽減措置が図られてきたが3年前から段階的に廃止になった。

元と主張してきた。保険料は際限なく値上げになることが想定され、制度導入時、批判をかわすため、軽減措置が図られてきたが3年前から段階的に廃止になった。

保険料の見直しは、2年ごとに行われ、2年前には1人当りの保険料が15・4%も値上げされた。今回は7・6%、3千348円の値上げである。

負担増は滞納者を増やし、医療抑制につながる。年金がどんどん減っていく中、負担は増える。年をとっても安心して医療を受けられ、安心して老後が過ごせる制度とすべきである。

賛成討論

渡辺 栄六 議員

令和2年度予算は、広域連合の事業計画に沿いながら、胎内市における事務の執行に必要となる歳入歳出予算について、いづれも過不足なく適切に計上されていることから、その成立に賛成するものである。

新たな保険料率の決定に際しては、学識経験者や被保険者の代表により構成される医療懇談

会において意見の聴取がなされた上で、県内各市町村議会の代表で構成される広域連合議会において慎重に審議され、決定されたものであり、全県的なコンセンサスが得られているものとして、評価できるものである。

今後健全かつ安定的に運営されていくことを願い、賛成討論とする。

常任委員会審査

総務文教

胎内市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

財政調整基金を取り崩さずに予算編成を行う上で、若干なりとも収支のバランスにゆとりを持たせる観点から、市長が10パーセント、副市長及び教育長がそれぞれ5パーセント、給料月額を減額する措置を講ずるため附則の改正を行うもの。

質問 市長が就任してから2年半になり趣旨は分かったが、副市長の感想、意見を伺いたい。

答弁 予算編成の中で、少しでも収支バランスを取りやすくと考え、市長と協議し特別職の給与は減額することで考えている。

公の施設に係る指定管理者の指定について

「つつじが丘交流センター」について、効率的・効果的な管理運営に資するため、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間、地元自治会のつつじが丘区を指定管理者に指定するもの。

質問 4月から指定管理ということだが、維持費等は市が持つのか管理者が持つのか。

答弁 指定管理者の例と同様にある一定額の大きな修繕は市が負担ということになる。軽微なものについては集落となる。これは、今後締結する協定の中で定めていく。

付託された他13件についても可決すべきと決定した。

厚生環境

胎内市国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額に、529万8千円を追加し、総額を31億6千88万4千円とするもの。歳出では、実績見込みに基づき、一般被保険者療養給付費及び葬祭費を増額し、出産育児一時金等を減額した。

質問 葬祭費の当初見込みは、どれくらい増える予定か。

答弁 当初見込みは44名。見込みを50名に修正した。

質問 葬祭費は、短期証や資格証も該当するのか。また生活保護者も対象となるのか。

答弁 短期証、資格証の方も支給対象となる。生活保護者は対象ではない。

公の施設に係る指定管理者の指定について

福祉交流センター有楽荘について、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間、株式会社誠を指定管理者に指定し、管理運営を行わせるもの。

質問 営業方針については。

答弁 現在より質の高い、樽ヶ橋を訪れる方が満足できる食堂運営に努めたいと強い意気込みを聞いた。

質問 営業はいつからか。

答弁 4月中旬のオープンに向けて協議を進めたい。



有楽荘内にオープンした「誠食堂」

付託された他5件についても可決すべきと決定した。

まちづくり

令和元年度胎内市水道事業会計 補正予算

資本的収入から752万円を減額、資本的支出から1千209万6千円を減額するもの。これは非常用自家発電設備の整備について、費用対効果を再考するため事業を延期したことにより補正を行うもの。また、新発田市との間で緊急時における相互の応急給水を行う協定を本年度に締結し、緊急時用連絡管整備事業を実施するため、その負担金に係る債務負担行為を追加するもの。

質問 新発田市との連絡管整備の具体的内容は。

答弁 胎内市城塚集落と新発田市大野集落の間で接続する。胎内市はアクセス道を横断したすぐのところに管が入っているの
で負担は少ないと考えている。

胎内市露店市場管理条例の一部を改正する条例

中条まつりの出店料について、市の露店市場の管理に要する経



連絡管接続箇所

費との兼ね合いや近隣市の類似の出店料も勘案して一定の引き上げを行うもの。

質問 引上げ後の改善状況は。

答弁 年間で約6万円上がる。現在、約10万円の歳入なので、約16万円になる。経費が約17万円なので大体均衡がとれると試算している。

付託された他8件についても可決すべきと決定した。

～開かれた議会、市民とともに歩む議会を目指して～

議場コンサートを開催しました

2月20日、第1回定例会初日に「議場コンサート」が行われました。これは、開かれた議会の取組の一環として初めて開催されました。

当日は、32名が訪れ、軽快なジャズ演奏を鑑賞し、その後、本会議を傍聴いただきました。来場した方からは、「初めて議会を見た」、「ジャズの生演奏を聴くことができ、たいへん良かった」などの感想をいただきました。

来年度も、議場コンサート開催を予定しておりますのでご期待ください。



出演いただいた「ジャズ・スタンダーズ」の皆様



傍聴席（上部）に多くの方が来場しました

令和2年5月1日 発行責任者 議長 薄田 智

2020年 **議会の動き**


令和2年第2回定例議会日程(予定)

6月

4日	議会運営委員会
11日	本会議(初日)
17日	総務文教常任委員会
18日	厚生環境常任委員会
19日	まちづくり常任委員会
25・26日	本会議(一般質問)
30日	本会議(最終日)

表紙の題字は

ぼくは、今年からビームライフルを始めようと考えています。新しく何かを始めるのは得意ではないけれど、がんばってチャレンジしてどこまでできるか試してみたいです。



きのと小学校 6年生
森田 凌雅さん
の作品です。

FAX (0254) 4316111 (0254) 4417875

T95912693 新潟県胎内市新和町2番10号

印刷/株式会社エンジュ

表紙の写真

「胎内市の未来を担う子どもたち」

私の将来の夢は……

- 齋藤 花音さん(中3) 医療系の仕事
- 星乃花さん(中1) バレーボール選手
- 凜々花さん(小4) 春高バレーに出場する事

胎内市議会フェイスブック

行政情報発信アプリ マチイロ



市議会の活動や話題を発信していきます。ぜひ、ご覧ください。

「たいたい議会だより」をスマートフォン等からご覧いただけます。

「議会モニター」を募集します!

胎内市議会では、市民の皆さんから議会に関する意見や感想等を広くお聴きし、今後の議会運営・議会活動に反映させるため、議会モニターを募集します。

- 応募資格**
 - ・ 満18歳以上の市民で市議会の仕組みや運営、市政に関心がある方
 - ・ 国又は地方議員、公務員でないこと
 - 募集人数**
 - ・ 12人以内
 - 活動内容**
 - ・ 本会議、委員会を傍聴し、意見・提案を行うこと
 - ・ 議会だより、市議会ホームページに関する意見・提案を行うこと
 - ・ モニター会議に出席し意見交換等を行うこと
 - 申込方法**
 - ・ 応募用紙に必要事項を記入のうえ、5月末日までに議会事務局へ提出ください。
 - ・ 応募用紙は、議会事務局で配布しているほか市議会ホームページからもダウンロードできます。
- ※詳しくは、市議会ホームページまたは、電話でご確認ください。 本会議の様子(上が傍聴席)



編集後記

新型コロナウイルスが世界中を震撼させ猛威を振るっていますが、折しも受験・卒業式・入学式・修学旅行シーズンと重なり、子どもたちは強制的に自宅待機を余儀なくされ、突然のことで戸惑っているご家庭も多いと思います。

楽しみにしていた修学旅行の延期や規模縮小の卒業・卒業式など、次世代を担う子どもたちが一番迷惑をこうむっているような気がしてなりません。早期の終息を心から願うものです。

(小野 徳重 記)